

地域包括支援センター運営協議会の会議結果報告

1. 会 議 名	令和8年度 第1回松阪市地域包括支援センター運営協議会
2. 開 催 日 時	令和8年 7 月2日(木) 午後2時～3時30分
3. 開 催 場 所	松阪地区医師会館 2階 大会議室
4. 出席者氏名	議事録 参照
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0 名
7. 担 当	松阪市健康福祉部健康福祉総務課 電話 0598-31-1952 FAX 0598-26-4035 e-mail kenfukusou.div@city.matsusaka.mie.jp

事項

1. 挨拶
2. 新任委員紹介
3. 報告事項
4. 協議事項
 - (1) 令和 7 年度 実績各センターの報告と決算について
 - (2) 令和8年度 各センターの事業計画と予算について
5. その他
 - ・令和8年度 松阪市地域包括支援センターが介護予防支援を委託している
居宅介護支援事業所について

議事録 別紙

令和 8 年度 第 1 回松阪市地域包括支援センター運営協議会 議事録

【日時】 令和 8 年 7 月 2 日(木) 午後 2 時 00 分～3 時 30 分

【会場】 松阪地区医師会館 2 階 大会議室(会場および WEB 併用)

【出席者】

【委員】:平岡会長、西村副会長、西井委員、岩瀬委員、村林(由)委員、川上委員、
寺阪委員、堀委員、沼田委員、廣本委員、大西委員 多次委員(WEB): 計 12 名
(欠席委員)村林(ゆ)委員: 計1名

【地域包括支援センター】

◎第一地域包括支援センター 管理者 1 名

◎第二地域包括支援センター 管理者 1 名

◎第三地域包括支援センター 管理者 1 名

◎第四地域包括支援センター 管理者 1 名

◎第五地域包括支援センター 管理者 1 名

【傍聴】 ◎ 0 名

【事務局】

◎健康福祉総務課:久世課長、世古担当監、徳田課長補佐、梶間主幹、大滝係長、
三田係長、辻原係長、中嶋主任、中林主任、長谷川主任、村林主任、
江藤係員、山本主幹

◎保健健康担当理事:池田理事

◎介護保険課:大川課長

◎地域振興局地域住民課:高口課長、野口課長、鈴木課長、池田課長

◎まるごと相談室:伊藤主幹、渡辺主幹、鈴木看護師、横山

◎包括支援センター:松尾主任介護支援専門員(第一)

事 項 :

1. 挨拶

2. 新任委員紹介

3. 報告事項

4. 協議事項

(1)令和7年度実績報告と決算について

(2)令和8年度 各センターの事業計画と予算について

5. その他

(1)令和8年度 松阪市地域包括支援センターが介護予防支援を委託している
居宅介護支援事業所について

1. 挨拶・新任委員紹介

平岡会長より開会の挨拶。9月開催の「救急医療を考える集い」における災害医療関連の講演会・パネルディスカッションについて

新任委員として廣本知律委員(社会福祉協議会代表)より挨拶

2. 報告事項

住民主体型通所サービス事業Bの実施状況について(資料1)

実績:登録者 131 名(女性 84%、平均年齢 80.3 歳)。5 ヶ月以上の継続参加者が 78.6%を占める。要介護認定状況の変化において、83.2%の参加者が状態の改善・維持を確認。

課題:団体数の減少や参加者の高齢化。

方針:今後も各団体へのフィードバックを行い、地域・包括支援センターと連携して活動の継続・発展に取り組む。

3. 協議事項

(1)令和7年度 実績報告と決算について(資料2、3)

事務局より総合相談支援、権利擁護、包括的継続的ケアマネジメント、介護予防等の各事業実績および決算報告を実施。

質疑・意見

委員:包括職員が訪問する際の安全確保(カスハラや事件等への対策)について市の考えは?

事務局:県が実施する「地域のケアマネジメント提供体制確保支援事業」(同行訪問時の経費補助等)について通知があり、包括支援センターへ周知している段階である。

決議:全会一致で 承認

(2)令和8年度 各センターの事業計画と予算について(資料4、5)

各包括支援センター管理者より、重点目標および事業計画の発表が行われた。

各センターの主な取り組み

第一包括:管内居宅介護支援事業所を対象とした「居宅管理者カフェ」の開催、介護予防サポーターの交流会を通じた横の繋がり強化。

第二包括:サービス保留者等に対する個人情報取り扱いの丁寧な説明(同意書の工夫)、地域の見守り担い手不足への対応。

第三包括:中山間地域の孤立防止、障害福祉も参画した「災害ネットワーク会議」の継続、多機関協働による重層的支援体制の構築。

第四包括:身寄りのない高齢者や複合的課題への対応強化、集いの場(老人会等)の活動支援、個々の能力を発揮できる認知症カフェの実施。

第五包括：医療と介護の連携強化、宇気郷地域における行政・住民と連携した新たな社会資源(デイサービス)の創設支援。

質疑・意見

委員：精神疾患や認知症など、複雑なケースの急変時対応はどのように行っているか。

第五包括：緊急入院に伴う障害者のケースにおいて、まるごと相談室や障害福祉課と連携し、緊急ショートステイへ繋げた実績がある。

委員：社協の CSW(コミュニティソーシャルワーカー)と包括の専門職が連携し、重層的に対応している。

委員：災害時における包括支援センターの役割について、市はどう考えているか。(第三包括の取り組みに関連して)

事務局・平岡会長：防災対策は今後検討を進める段階。各事業所の BCP(事業継続計画)作成と連携し、地域ごとの災害リスクに合わせ、支援が必要な方の情報把握において包括の協力も得ていきたい。

決議：事業計画および予算案について、全会一致で 承認

4. その他

令和 8 年度 介護予防支援委託 居宅介護支援事業所について(資料 6)

令和 8 年 6 月現在、81 ヶ所の居宅介護支援事業所に業務の一部を委託。

昨年度と同数だが、7 ヶ所減少し、新たに 7 ヶ所の事業所が登録された旨の報告があった。

5. 次回開催予定

日時：令和 8 年 11 月 12 日(木)午後 3 時 00 分～

場所：福祉会館 3 階(※今回と会場が異なるため注意)